

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二二
毎週一回発行

9月議会 一般質問 日本共産党市議団の 傍聴にお越しく下さい

豊田市9月定例会市議会が8月31日に開会。会期は、9月25日までの26日間です。日本共産党豊田市議団の根本みはる市議、大村よしのり市議の一般質問の日程は左記のとおりです。日本共産党市議団の質問通告の概要をお伝えします。

9月3日(月)
午後1時40分頃



根本みはる市議
午後の2人目

9月4日(火)
午後4時20分頃



大村よしのり市議
午後の4人目

根本市議の 一般質問 通告要旨

給食費無料は子どもの 食のセーフティネット

学校給食は教育の一環であるという点から、学校給食無料化、および給食費の値上げについて、市としての考えを聞き、無料化・助成制度を求めます。

- ①子どもの学習費・給食費
- ・文科省が行った調査結果から公立小中学校の学習費・給食の年額は
- ・給食費の年間金額は
- ②給食費の値上げの検討状況
- ・21年度と22年度の給食費総額の差額
- ・給食費の値上げについて

③給食費の負担区分と無料化した自治体

- ・給食経費の負担区分の考え方
- ・給食費の無料化を実施した自治体数
- ・給食費の一部無料化・一部補助の自治体
- ④給食費未納から見える子どもの貧困への支援
- ・就学援助を受けている家庭の子どもの割合
- ・給食費が未納となる世帯に対する福祉部門との連携

市民のための図書館を 市民参加で

- ⑤学校給食費の無料化を
- ・すべての子どもの食のセーフティネットである給食費の無料化
- ・少なくとも給食費の値上げをしないとの考えを示すこと

- 図書館の「運営の基本」に基づき、豊田市中心図書館の指定管理の検証について考えを聞き、提案します。
- ①中央図書館・子ども図書室の職員の処遇・体制
- ・指定管理開始時の職員の人数
- ・継続雇用の職員の人数
- ・平成29年度中央図書館収支決算報告書に示された人件費
- ・「人的基盤」の評価が「優良」

大村市議の 一般質問 通告要旨

教育現場で子どもの 命を守る改善を

- ①事故検証の第三者機関の設置について
- ・第三者機関の設置による事故の原因究明と今後の再発防止策
- ②野外活動の運営マニュアルについて
- ・暑さ指数(WGBT)の状況と学校活動での位置づけ
- ・死亡事故のあった野外活動時の、児童の引率体制。
- ③学校、こども園での炎天下の野外活動の対策
- ・学校活動(こども園を含む)における暑さの影響による体

とされている理由

- ②図書の出借利用者数と貸出冊数
- ・29年度評価シートの「利用促進」の評価基準
- ・図書の貸出利用者数と貸出冊数の28年度比と割合
- ③市民のための図書館を市民参加で
- ・図書館協議会の開催回数
- ・指定管理による運営の検証は市民参加で

調不良、病院搬送の最近の実態

- ・運動会の際の日陰用のテント設置の現状と対策
- ・プール利用の場合の特別の判断基準の必要性について
- ・野外活動の在り方と対応の改善
- ④登下校時における安全確保について
- ・災害対応に関わる登下校の判断マニュアルについて
- ・通学路における危険なブロック塀の対策について

生活困窮者のエアコン 設置対策

- ⑤学校施設におけるエアコンの設置について
- ・体育館のエアコン設置の必要性を提起
- ・放課後児童クラブの活動室のエアコン設置の現状と対策
- ⑥今回の事故に対する児童・教職員の心の相談について
- ①暑さ指数にもとづく「熱中症警戒システム」の提起
- ②エアコン設置の補助制度について
- ・高齢者、障がい者世帯、就学前の子どものいる世帯などへのエアコン設置補助制度
- ・生活保護受給開始や転居の場合の一時扶助によるエアコン購入・設置の周知徹底

○小学校の前倒し計画

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
小学校 (75校)		設置・買取 設置目標	← 前倒し	

熱射病による小学校児童の死亡事故を受けて、市は、緊急に対応を検討し、小学校への設置計画を大幅に前倒して、来年の6月末を設置目標とする措置をとるために補正予算を提出したものです。 ※上記図を参照のこと。

小学校へのエアコン設置大幅前倒し 子どもの命を最優先に、来年夏に間に合わせる

学校の教室にエアコンを設置するための補正予算が9月市議会に提出されました。小中学校の教室へのエアコン設置の計画は、当初予定では次のようになっていました。

ちなみに、中学校は、当初の予定通り、来年度中の設置計画で変わりはありません。日本共産党豊田市議団は、事故のあった3日後の7月20日、豊田市教育委員会あてに今回の事故に関する申し入れを直ちに行いました。その中で、教室へのエアコン設置を前倒しで行うように強く求め、「二度とあってはならない事故。子どもたちが安心して通える教育環境へ緊急の手立てをとってほしい」と要請していました。(左写真)



9月市議会の一般質問で、大村よしのり市議が、教育現場で、子どもの命を守る抜本対策を提起します。

豊田・平和を願う戦争展 多彩な催しに1000人の参加

(催し物報告の投稿)
豊田市平和のための戦争展
◆実行委員会代表委員
篠田木末

8月25日、26日の2日間にわたり、豊田産業文化センターにおいて「平和を願う戦争展」が開催されました。今年第31回目で約1000人余の参加者でした。

豊田市での「戦争展」の始まりは、1997年の原水爆

禁止世界大会長崎大会に、新日本婦人の会の代表として参加したTさんの参加報告文で

した。「唯一の被爆国である日本の母として、こどもたちに被爆の実相をきちんと伝えねば」と。その年の12月に初めて原爆写真展が開催されたところからスタートしました。今年はそのパネルを会場ホールの外のロビーに展示することができ、中まで入らなかった多くの人に見てもらえたことが良かったです。

「豊田市にも戦争があった」と、地域の調査に基づく展示の前では毎年、「知らなかった！」という驚きの声が上がります。飯田美弥子弁護による憲法講演会「笑って憲法、落語で憲法」も大好評。戦争体験を聴く会は、今年は樺太と中国から引き上げの苦労をされた二人の女性からお話を聴きました。朗読劇、読み聞かせ、紙芝居も盛況でした。戦争と平和のことに正面から取り組んでアピールするこの催しの意義をあらためてかみしめています。

これからも続けていかねばと思っていますが、息切れ感もあります。どうぞ皆様の率直なご意見ご感想をお寄せください。



原水爆禁止世界大会・報告会にご参加ください

被爆者が呼びかける
核兵器廃絶署名運動

9月16日(日)午後1時~2時

松坂屋デッキ前

主催:豊田地域原水協

9月16日(日)午後3時~4時30分
市民活動センター(松坂屋9階)

豊田市から5人の代表が参加しました。映像を使った、臨場感ある報告会です。

